

経 営 方 針

1. 経営の基本方針

当社は、「誠意」と「創意」を経営信条とし、この信条に溢れた仕事こそが、人々の心からの満足と共感を得られ、真の社会への貢献につながると考えております。また、株主や取引先、社員などすべての協力者との相互繁栄を期すことを経営理念に掲げ、日々事業活動に取り組んでいます。

2. 利益配分に関する基本方針

そのため、当社は、株主皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、安定配当の維持を基本としながら、業績と財務状況等を総合的に勘案し、増配、あるいは株式分割などの株主還元策を実施してまいりました。また、内部留保資金につきましては、将来の成長分野への設備投資や特長商品及び独自デバイスの開発、さらには海外展開や環境対策などに活用すると共に、キャッシュフロー重視の経営を推進し、経営基盤の一層の強化を通じて、株主皆様のご期待にお応えしてまいり所存であります。

3. 中長期的な経営戦略と会社の対処すべき課題

当社を取り巻く環境は、IT（情報技術）の飛躍的な発展により、デジタル化、ネットワーク化、放送・通信の融合が進展し、インターネットの急速な普及と相俟って、産業構造の変革を促し、消費構造の変化と新たな事業機会の創出をもたらしています。当社では、

- (1) コアコンピタンスである液晶事業について、他社の追随を許さない「世界ナンバーワン液晶技術の開発」と「独自生産技術の確立」「特許戦略」などあらゆる分野で取り組みを拡大してまいります。
- (2) IC事業については、「選択と集中」を徹底し、フラッシュメモリや液晶用LSI、CCD及びCMOSイメージャ、アナログICなど重点成長分野で独自デバイスの開発に力を注いでいきます。
- (3) 地球環境への関心の高まりと共に21世紀の成長が期待される太陽電池や半導体レーザー等、オプトデバイス事業も、重点的に拡充を図ってまいります。
- (4) 商品事業については、デジタル放送と親和性の高い液晶カラーテレビを本格拡大し、2005年には、国内のすべてのカラーテレビを液晶に置き換える戦略を進めています。モバイルネットワークの核となるザウルスについては、世界展開を図り、徹底した取り組み強化を図ります。そのほか、ネットワーク対応家電の拡充、シャープスペースタウンとの連動など、当社特長デバイスを搭載し、ネットワークとの接続性を高めたオンリーワン商品の創出に努めてまいります。
- (5) さらに、グローバルな経営資源を有効活用すべく、国際有力企業との技術提携や協業を積極的におし進めます。
- (6) また、当社は地球環境保全を経営上の重要な課題として捉え、循環型社会の構築と環境に配慮した商品の開発、生産を進めております。昨年度から環境会計の導入を図ると共に、この4月には国内の全事業所で資材のグリーン調達制度を開始しました。さらには、2001年4月の特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）施行に向け、リサイクルプラントの建設等、効率的なりサイクルシステムの構築を行い、環境先進企業としての取り組みを強化してまいります。

こうした事業戦略の展開により、収益性や株主価値、資金効率の観点から、重点経営指標の株主資本利益率（ROE）、総資本利益率（ROA）、フリーキャッシュフローの向上につとめ、企業価値の拡大を図りながら、社会への貢献を果たしてまいりたいと考えております。

なお、ROEにつきましては、中期的目標として、連結ベースで10%以上をめざしております。